

## 11. ノランダ社 (Noranda Inc.)

### 1. 企業概要

本社	カナダ・トロント
主要事業〔鉱種〕	非鉄金属鉱山・製品〔Cu,Zn,Pb,Ni,Al〕
従業員数	約 15,000 人
決算日	12 月末日
主要関連会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Falconbridge Ltd. ( 58.9%) ※2003 年の権益比率は 59.5%</li> <li>・Novicourt Inc. ( 62.1%)</li> <li>・Compañía Minera Antamina ( 33.75%)</li> </ul>

### 2. 財務状況 (mUS\$)

年度	2004	2003	2002
売上高 Sales〔①〕	6,978	4,657	3,873
当期利益 Earnings(loss)〔②〕	551	23	-414
利益率〔③=②/①〕	7.9%	0.5%	-10.7%
資産 Total assets	9,611	8,328	7,172
流動資産 Current assets	3,575	2,590	1,847
負債 Total liabilities	6,552	5,732	5,244
流動負債 Current liabilities	1,818	1,334	1,055
株主資本 Shareholders' equity	3,059	2,597	1,858
探鉱費 Exploration Spending Totals ※	13.8	12.4	17.1
〔参考〕探鉱費 (Falconbridge との計)	31.6	53.7	59.0

※探鉱費は Major Company Exploration Profile (Metals Economics Group 2005)による。

### 3. 主要鉱産物の生産・開発状況 〔※鉱山名 (所在国,権益比率) :生産量は権益分〕

年度	2004	2003	2002	04 年の世界シェア
<b>銅鉱 (kt)</b>	<b>345.1</b>	<b>297.5</b>	<b>328.1</b>	2.4 % (第 13 位)
Antamina(ペルー,33.75%)	122.2	85.2	111.6	
Collahuasi(チリ,25.9%)	120.8	100.3	106.4	
Lomas Bayas(チリ,58.9%)	36.5	36.0	34.1	
Kidd Creek(カナダ',58.9%)	24.2	27.6	26.1	
Sudbury(カナダ',58.9%)	14.5	17.4	17.9	
Louvicourt(カナダ',28.0%)	8.9	10.6	12.1	
Raglan(カナダ',58.9%)	4.0	3.9	3.7	
Montcalm(カナダ',58.9%)	0.7			
Others(100%)	13.2	16.5	16.1	
<b>粗銅(kt)</b>	<b>496.7</b>	<b>484.3</b>	<b>418.3</b>	
Horne(カナダ',100%)	149.7	132.7	147.0	
Altonorte(チリ,100%)	266.4	261.0	147.1	
Sudbury(カナダ',58.9%)	10.8	12.4	11.8	
Kidd Creek(カナダ',58.9%)	69.6	78.2	82.9	
Gaspe(カナダ',100%)			29.6	※1999 年銅山閉山
<b>電気銅(kt)</b>	<b>429.1</b>	<b>388.1</b>	<b>395.6</b>	3.0% (第 11 位)
CCR(58.9%)	288.4	235.4	244.3	
Kidd Creek(58.9%)	68.1	78.8	84.3	
Lomas Bayas(チリ, 58.9%,SX-EW)	36.5	36.0	34.1	
FNA(Nikkelverk)(58.9%)	21.0	21.3	17.6	
Collahuasi(チリ, 25.9%, SX-EW)	15.1	16.6	15.3	

<b>亜鉛鉱(kt)</b>	<b>488.6</b>	<b>568.5</b>	<b>505.5</b>	5.4%(第3位)
Brunswick(カナダ,100%)	268.1	286.5	277.4	
Matagami(カナダ,100%)	98.9	109.7	84.8	
Kidd Creek(カナダ,59.5%)	51.7	44.9	59.8	
Antamina(ペルー,33.75%)	64.2	122.4	77.9	
Louvicourt(カナダ,28.0%)	5.8	5.0	5.6	
<b>亜鉛地金(kt)</b>	<b>140.9</b>	<b>157.7</b>	<b>260.7</b>	1.4%(第14位)
Noranda Income Fund	69.3	101.3	90.2	
Kidd Creek	71.6	56.4	83.6	
CEZ			87.0	
<b>鉛鉱(kt) Brunswick(カナダ,100%)</b>	<b>73.7</b>	<b>77.7</b>	<b>76.2</b>	2.3%(第6位)
<b>鉛地金(kt) Brunswick(カナダ,100%)</b>	<b>83.8</b>	<b>60.8</b>	<b>90.2</b>	1.2%(第7位)
<b>銀鉱(t)</b>	<b>361</b>	<b>333</b>	<b>351</b>	1.9%(第13位)
Brunswick(カナダ,100%)	186.6	192.0	193.7	
Kidd Creek(カナダ,59.5%)	84.5	42.4	65.7	
Antamina(ペルー,33.75%)	70.5	83.2	75.9	
Others(100%)	19.4	15.2	15.4	
<b>銀地金(t) CCR Refinery(100%)</b>	<b>1,159.4</b>	<b>942.8</b>	<b>1,257.8</b>	
<b>金地金(t) CCR Refinery(100%)</b>	<b>34.3</b>	<b>35.2</b>	<b>32.0</b>	
<b>ニッケル鉱(kt)</b>	<b>45.0</b>	<b>43.1</b>	<b>41.6</b>	3.5%(第9位)
Raglan(カナダ,58.9%)	15.6	14.9	14.2	
Falcondo(トミニカ,50.2%)	14.8	13.8	11.4	
Sudbury(カナダ,58.9%)	13.3	14.4	16.0	
Montcalm(カナダ,58.9%)	1.3	-	-	
<b>ニッケルマット(kt) Sudbury(カナダ,58.9%)</b>	<b>31.0</b>	<b>35.6</b>	<b>33.3</b>	
<b>ニッケル地金(kt)</b>	<b>56.9</b>	<b>59.7</b>	<b>50.8</b>	4.5%(第6位)
FNA(Nikkelverk)(58.9%)	42.1	45.9	39.4	
Falcondo(トミニカ,50.2%)	14.8	13.8	11.4	
<b>コバルト鉱(t)</b>	<b>436</b>	<b>667</b>	<b>619</b>	
Sudbury(カナダ,58.9%)	252	392	397	
Raglan(カナダ,58.9%)	184	275	222	
<b>コバルトマット(t) Sudbury(カナダ,58.9%)</b>	<b>1,083</b>	<b>1,307</b>	<b>1,124</b>	
<b>コバルト地金(t) Nikkelverk(58.9%)</b>	<b>2,751</b>	<b>2,711</b>	<b>2,296</b>	
<b>アルミニウム地金(kt)</b>	<b>247.474</b>	<b>244.044</b>	<b>236.459</b>	0.8%(19位)

#### 4. 沿革

1922年、Noranda社の前身であるNoranda Mines Ltd.社がQuebec州に設立された。その後、Geco Mines Ltd.との合併およびトロントへの本社移転を経て、1984年に現在の社名となった。最近まで木材、石油、ガスなどに幅広く事業を展開していたが、1997年、鉱山・製錬事業に集中することになり、以降銅、亜鉛、ニッケルを中心としたカナダ最大の総合非鉄メーカーとなっている。

1920年・米国、カナダで金の探査を続けていたEdmund Horne氏が、Quebec州北西部に70エーカーの鉱区を取得した。

1922年・5月1日、同鉱区の探鉱開発を目的としてNoranda Mines Ltd.を設立した。社名の由来は“Norcanada(Northern Canada)”が誤って登記されたことによるといわれている。

1928年・同鉱区のHorne鉱山において“Giant H鉱体”が発見され、これが同社の礎となった。

1920年代後半～50年代・CCR製錬所の建設、Quebec州Gaspé(ガスペ)地域における鉱山開発、Kerr Addison Mines Ltd.(ケール・アディソン社)の権益取得など鉱山・製錬事業に投資を開始し、

さらに Canada Wire & Cable Co. Ltd.を子会社化するなどして金属加工、森林資源分野にも進出した。

1964年・Geco Mines Ltd. (ジェコ・マインズ社,カナダ)を合併して本社をトロントに移転した。

1960～70年代・金属価格上昇を追風としてさらに積極的な事業展開を図り、Brunswick Mining & Smelting Corp. Ltd.(フランスウィック)の権益取得、Mattagami Lake Mines(マッタガミ)、Brenda(ブレнда)の鉱山開発、CEZinc 製錬所、NewMadrid(ニューマドリット)製錬所の建設による亜鉛地金、アルミニウム地金の生産開始などが行われた。

1973年・石油・ガス事業に参入した。

1980年代・金属価格の下落、鉱量枯渇を受けて、同社の主力であった Gaspé(ガスペ)および Heath Steele(ヘース・スティーレ)の各鉱山を一時閉鎖した。さらに、一次製品の価格低迷による経営危機に対応して、それまで多角化を図ってきた事業展開を見直して資産売却による合理化を進めた。一方で、電子部品スクラップからの金属回収を開始した。

1984年・Noranda Mines Ltd.社から Noranda 社へ社名を変更した。

1988年・Falconbridge 社の権益 10%を取得するなど戦略的事業投資を行っている。

1990年代・経営体質改善に成功した Noranda 社は、Falconbridge 社への増資、Louvicourt、Antamina、Collahuasi(コジャウシ)など大規模鉱山の開発、Altonorte 製錬所、CEZinc 製錬所の拡張・改造プロジェクトなど、積極的な事業展開を行った。

1997年・鉱山・製錬部門への回帰と集中を基本方針とした。

1998年・97～98年間に石油・ガス部門、森林資源部門の権益を売却、鉱山・製錬部門に特化して事業を展開している。

・7月、Collahuasi 銅山(チリ第 I 州)の生産開始。

2002年・5月、CEZ refinery を Noranda Income Fund に売却し、Noranda の権益は 49%となった。

・Noranda が所有する Falconbridge の平均権益比率は 57.5%であった。

・同年末に Noranda 社と Falconbridge 社は探鉱部門を統合した。

2003年・Noranda が所有する Falconbridge 及び CEZ refinery の平均権益比率はそれぞれ 59.5%、37.9%であった。

2004年・Noranda が所有する Falconbridge 及び CEZ refinery の平均権益比率はそれぞれ 58.9%、25.0%であった。

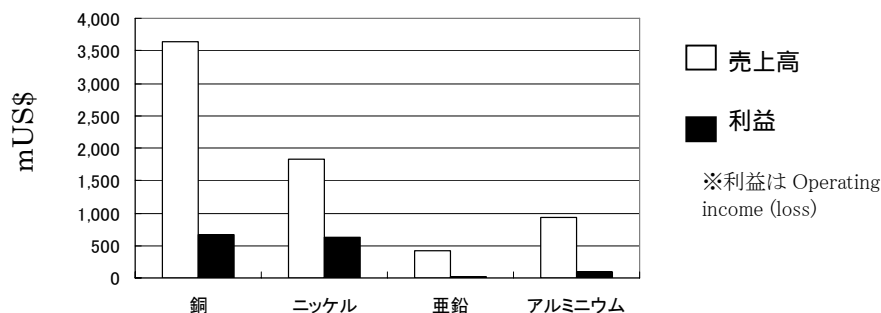
2005年・8月15日、Xstrata は Falconbridge の株式 19.9%相当をカナダ系資産管理会社 Brascan 社から約 1.7bUS\$ で獲得。その後の市場外での追加購入で 20.1%の株式を取得。

・9月、Noranda は、Falconbridge を吸収合併し新会社名を Falconbridge とすることを発表。

・10月11日、Inco は Falconbridge を総額 12bCan\$(11bUS\$)にて買収合意したと発表。

## 5. 事業内容

Noranda 社は事業を、亜鉛事業、ニッケル事業、銅事業、アルミニウム事業に分け、事業展開している。また、系列会社 Falconbridge 社への出資比率は 2002年7月に 58.4%、更に 02年末までに 59.5%にまで引上げたが 2004年度は 58.9%となっている。2005年8月、Xstrata が Falconbridge の 20.1%の株式を取得したが、Noranda は、同年9月、Falconbridge を吸収合併し新会社名を Falconbridge とすることを発表した。



2004年部門別売上高と利益

(1) 銅

Noranda 社は、Antamina 鉱山に 33.75%の直接権益を有する以外は Falconbridge 社等を通して銅鉱山に権益を有している。

2004 年 権益保有鉱山の埋蔵鉱量と生産量 [※鉱量は Proven+Probable、2004 年末時点]

オペレーション名	権益 (%)	鉱量 (mt)	採掘法	品位 (%)	04 年産銅量 (含有金属量) (権益分:kt)
<b>銅鉱床</b>					
Antamina (ペルー)	33.75	468.0	OP	1.22	371 (122)
Kidd Creek (カナダ)	58.9	18.1	UG	1.80	41 (24)
Lomas Bayas (チリ)	58.9	342.7	OP	0.34	62 (37)
Collahuasi (チリ)	25.9	1,849.6	OP	0.90	408 (121)
<b>多金属鉱床</b>					
Louvicourt (カナダ)	28.0	0.6	UG	2.43	14 (4)
<b>ニッケル・銅鉱床</b>					
Sudbury Division (カナダ)	58.9	11.9	UG	1.33	25 (15)
Raglan (カナダ)	58.9	15.7	OP、UG	0.78	7 (4)
Montcalm (カナダ)	58.9	4.9		0.73	1.2 (0.7)

- 1999 年に Gaspé 鉱山、2000 年に Gallen 鉱山を閉山する一方で、Falconbridge 社生産分が増加し、Noranda の直接権益分の生産比率が低下しつつある。
- Noranda が 2004 年に 58.9%の権益を有する Kidd Creek、Lomas Bayas、Sudbury、Raglan 及び Montcalm の各鉱山は、Noranda・Falconbridge グループが 100%の権益を有する鉱山であり、残り権益分が Falconbridge 権益である。
- Collahuasi には Falconbridge 社が 44%の権益を有しているが、Noranda の権益分 58.9%により Collahuasi 全体の Noranda の実質的権益比率は 25.9%となる。
- Louvicourt 鉱山は、Noranda 社が 62.1%の権益を有する Novicourt Inc.が 45%の権益を有する鉱山である。
- Collahuasi 鉱山では今後見込まれる鉱石品位の低下の対応として、1998 年の開山以来採掘してきた Ujina 鉱体から Rosario 鉱体への採掘の移転と選鉱場処理能力の 60kt/日から 110kt/日への増強工事が 2003 年末に完了した。
- Kidd Creek 鉱山は、使用する立坑別に採掘深度に従って、No.1 鉱山、No.2 鉱山、No.3 鉱山と区分されている。この内、No.3 鉱山は 2001 年に生産を開始し、02 年に第 2 期工事を終え、04 年にはフル生産となる見込みであったが、2005 年にずれ込んだ。また、No.3 鉱山の 2070～3110mL に Mine D と呼ばれる拡張工事を行っており、この拡張により、年間粗鉱量は 2mt 増加する見込みである。

上述のように Noranda 社は直接権益を有する鉱山が少ないが、世界有数のカスタムスマルターとして、銅地金の生産を行っている。カナダでは、Horne 製錬所を操業中で、粗銅は同じくカナダの CCR 製錬所で精製されている。

また、チリに Altonorte 製錬所を有しており、約 70%の粗銅は CODELCO の Chuquicamata 製錬所で精製されている。一方、Falconbridge 社は Kidd Creek 鉱山の精銅を処理する Kidd Creek 製錬所及び Sudbury 鉱山のマットを製錬する Nikkelverk 製錬所において地金生産を行うとともに、Collahuasi 鉱山及び Lomas Bayas 鉱山で SX-EW による地金生産を行っている。

2004年 権益保有銅製錬所・SX-EW 銅山による地金生産量

オペレーション名	権益 (%)	粗銅生産量(Kt) (権益分)	カソード生産量(kt) (権益分)
Horne 製錬所(カナダ)	100	150	
Altonorte 製錬所(チリ)	100	266	
Kidd Creek 製錬所(カナダ)	58.9	118(70)	116( 68)
Sudbury Division(カナダ)	58.9	18(11)	
CCR 製錬所(カナダ)	100		288
Nikkelverk 製錬所(ノルウェー)	58.9		36(21)
Collahuasi: SX-EW(チリ)	25.9		58(15)
Lomas Bayas: SX-EW(チリ)	58.9		62(37)

- Horne 製錬所と並ぶ Noranda 社の粗銅生産拠点であったカナダの Gaspé 製錬所は、2002年3月に閉鎖された。
- Altonorte 製錬所の拡張工事は2003年1月に終了し、2004年の銅生産量は266ktと計画値に達した。拡張工事の総費用は170mUS\$である。

(2) 亜鉛・鉛

Noranda 社は世界第3位の亜鉛鉱山である Brunswick 鉱山及び第20位の Bell Allard 鉱山を保有し、自山鉱及び買鉱の製錬を行っている。また、33.75%の権益を有する Antamina 鉱山、Falconbridge 社の Kidd Creek 鉱山及び Novicourt 社の Louvicourt 鉱山といった銅鉱山も亜鉛精鉱を産出している。

2004年 権益保有亜鉛鉱山の埋蔵鉱量と生産量

オペレーション名	権益 (%)	鉱量 (mt)	品位(%)	採掘タイプ	生産量(kt) (権益分)
Brunswick(カナダ)	100	17.4	8.94 Zn	UG	268 Zn
			3.62 Pb		74 Pb
Kidd Creek(カナダ)	58.9	18.1	6.03 Zn	UG	88(52) Zn
			0.21 Pb		—
Louvicourt(カナダ)	28.0	0.6	1.93 Zn	UG	21(6) Zn
Antamina(ペルー)	33.75	468.0	0.97 Zn	OP	224(64) Zn

- Brunswick 鉱山のマインライフは6年程度と見込まれている。
- カナダ・Matagami 地域にある Bell Allard 鉱山はマインライフが終了した。同地域での次期鉱山として位置付けられている Perseverance 鉱床の開発は未定である。同鉱床の資源量は 5.1mt (15.82% Zn, 1.24% Cu, 29.4 g/t Ag, 0.38 g/t Au)と見込まれている。

2004年権益保有亜鉛・鉛製錬所による地金生産

オペレーション名	権益 (%)	地金生産量(kt) (権益分)
CEZinc 製錬所(カナダ)	25.0	277 (69) Zn
Kidd Creek 製錬所(カナダ)	59.5	122 (72) Zn
Brunswick 製錬所(カナダ)	100	84 Pb

- 2002年5月にCEZinc製錬所売却のためNoranda Income Fundを設立し、株式の一般投資家への売却を進めており、2004年にその権益は25%まで低下した。

### (3) ニッケル

Noranda社のニッケル生産は、全てFalconbridge社によるものである。Falconbridge社は、カナダのSudbury地域で4鉱山からニッケル・銅鉱石を採掘、Falconbridge社のRaglan鉱山の精鉱やその他の原料も加えて、ニッケル・銅マットを生産している。Sudbury製錬所で生産されたニッケル・銅マットは、ノルウェーに送られ、Nikkelverk製錬所にてニッケル・銅・コバルト等の地金に精製される。

また、Falconbridge社はドミニカ共和国でFalcondo社(Falconbridge Dominicana, C. por A.、権益85.2%(Norandaの実質権益比率50.2%))を運営している。Falcondo社は7地域でニッケル鉱石を採掘し、フェロニッケルを生産している。

2004年主要権益保有ニッケル鉱山の埋蔵量と生産量

オペレーション名	権益 (%)	鉱量 (mt)	品位 Ni(%)	採掘法	生産量(kt) (権益分)
Sudbury(カナダ)	59.5	11.9	1.20	UG	23(13)
Raglan(カナダ)	59.5	15.7	2.82	OP、UG	27(16)
Montcalm(カナダ)	59.5	4.9	1.51	OP	2.2(1.3)
Falcondo(ドミニカ)	50.2	57.4	1.21	OP	29(15)

2004年主要権益保有ニッケル製錬所による地金生産

オペレーション名	権益 (%)	地金生産量(kt) (権益分)
Nikkelverk(ノルウェー)	59.5	71(42)
Falcondo(ドミニカ)	50.2	29(15)

## 6. 探鉱戦略

### (1) 概要

Noranda社は、トロント本社のほか、カナダ国内2事務所(Matagami、Lomas)、海外5事務所(El Morro(メキシコ)、Santiago、Belo Horizonte(ブラジル)、San Juan(アルゼンチン)、Brisbane)を置き、探鉱活動を実施している。

2002年末にNoranda社とFalconbridge社は探鉱部門を統合した。統合された探鉱チームはNoranda社とFalconbridge社それぞれを代表して銅、ニッケル、PGMの探鉱を行っている。なお、Falconbridge社の探鉱事務所は、Noranda社の事務所以外の場所として、南アのPuretoriaも置かれている。

両社の探鉱ターゲットは税引後の投資に対するリターン15%以上、操業コストは業界平均以下、許容範囲内のカントリーリスクの国となっている。

2005年の探鉱費は、Falconbridgeとの合計額で62.1mUS\$であり、主要非鉄金属企業中第14位に相当する。

### (2) 対象鉱種

Noranda社の探鉱対象のほとんどは銅であり、Falconbridge社の探鉱対象のほとんどがニッケルである。

### (3) 対象地域・探鉱段階

Noranda社の探鉱予算は中南米地域、カナダ、アジア等その他地域で各3分の1が充てられている。一方、Falconbridge社は太平洋/東南アジア地域及びカナダにおける探鉱予算が約45%ずつを

占める。

探鉱段階に関しては、2004 年の探鉱予算は Grass Roots に 10.5mUS\$ (76%)、事業化調査に 3.3mUS\$ (24%) で、鉱山周辺探鉱には充当していない。

#### (4) 最近の動向

(中南米)

Noranda の中南米における探鉱は、チリの El Morro 鉱床及びアルゼンチンの El Pachón 鉱床及びそれらの周辺探鉱にほぼ集中している。

#### El Morro 銅・金鉱床 (チリ第 III 州 Vallenar の東 80km)

同権益を所有していた Metallica Resources 社(米)と Noranda は、1999 年 10 月に探鉱契約を締結し、2000 年 2 月から試錐調査を開始した。現在の権益比率は Noranda 70%、Metallica Resources 社 30% である。現状の開発計画は、銅精鉱中銅量 145kt/年、金量 10t/年、キャッシュコスト 33 ¢ /lb、初期投資額は 800mUS\$ である。資源量 (Measured+Indicated+Inferred) は次のとおり。

鉱量 (mt)	品位		金属量	
	Cu(%)	Au(g/t)	Cu(mt)	Au(t)
525.05	0.622	0.481	3.268	253

#### El Pachón 銅・モリブデン鉱床 (チリ国境から 2 km、チリ第 IV 州 Los Pelambres 鉱山の東 10 km)

鉱区は、チリとの国境に接したアルゼンチン側に位置しており、鉱業統合条約の恩恵を受けるプロジェクトである。Noranda 社は 2001 年 10 月に同鉱床の権益を Cambior 社(カナダ)と Comsur(ボリビア)両社から 30mUS\$ にて 100% 獲得した。年産計画は、銅精鉱 800kt/年 (含量 Cu 200kt/年)、モリブデン精鉱中含量 Mo 3kt/年にて、マインライフ 20 年以上、初期投資額 1.15bUS\$、キャッシュコスト 50 ¢ /lb が見込まれている。資源量 (Measured+Indicated+Inferred) は次のとおり。

鉱量 (mt)	品位			金属量		
	Cu(%)	Mo(%)	Ag(g/t)	Cu(mt)	Mo(kt)	Ag(t)
1,283.9	0.593	0.016	2.6	7.617	201	3,338

また、Falconbridge は、ブラジルでニッケル、PGM を対象とした初期探鉱を行っている。

(大洋州・アジア)

Noranda 社は、豪州では、Queensland 州 Mt. Isa 鉱山地域で Grass Roots 探鉱を行っている。

#### Lady Loretta 亜鉛鉱床 (豪、Mount Isa 鉱山の北西 140km)

Noranda は、1999 年 10 月から調査を開始し、2001 年 1 月、Buka Minerals 社(豪)から 21A\$ にて同鉱床の権益 75% を取得した。同年 9 月に F/S を終え、開発待ちの状態となっている。

資源量は 12mt、品位 Zn 16.1%、Pb 5.7% となっており、亜鉛量で 125kt/年、鉛量で 40kt/年の生産を 10 年以上予定している。

PNG で、Noranda は Highlands Pacific 社から 3 地域についてオプション権を得て、探査を実施している。それらは、PNG 北部に位置し、全て斑岩型銅・金鉱徴を確認している。

Falconbridge 社はニューカレドニアの Koniambo 鉱床の探鉱に力を入れている。

#### Koniambo ニッケル鉱床 (ニューカレドニア、北部)

同鉱床は 1998 年に SMSP 社 (Société Minière du Sud Pacifique) と J/V を締結したラテライト型ニッケル鉱床探鉱・開発プロジェクトで、Noranda が 49%、SMSP 社が 51% の権益を有する。鉱床は、Saprolite と Limonite の二種に区分され、資源量 (inferred) は各々 156mt (品位 Ni 2.2%、Co 0.08%)、

及び 100mt (Ni 1.6%, Co 0.2%)、露天掘・酸浸出により年産計画量はフェロニッケル 60kt/年、初期投資額 2.2bUS\$と見込まれている。

(カナダ)

Noranda、Falconbridge 両者共にカナダにおける探鉱は、既存鉱山の周辺探鉱が主体であり、Sudbery 鉱山では Nickel South Rim 鉱体が発見され、資源量 4.9mt (Ni 1.8%、Cu 0.56%) が計上されている。また、オンタリオ州 Timmins 近郊の Montcalm 鉱床での探鉱が進められている。

**Montcalm ニッケル鉱床** (カナダ, Ontario 東部 Porcupine 地区 Timmins 北東 73km)

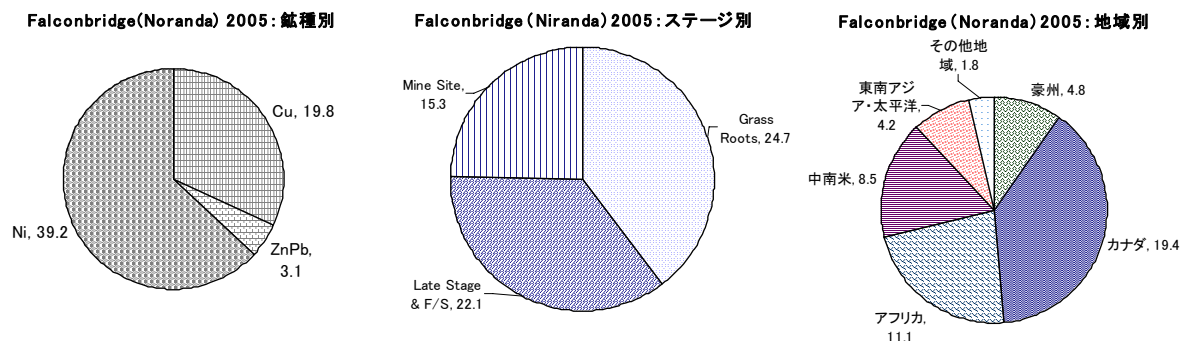
2000 年 10 月、同権益を有していた Outokumpu 社と契約し 15.9mUS\$にて 50%の権益を取得する契約を締結し、その後、2001 年の F/S を経て現在は Falconbridge が 100%の権益を有する。資源量、埋蔵量は、次のとおり。

資源量+埋蔵量 (mt)	品位		金属量	
	Ni(%)	Cu(%)	Ni(t)	Cu(kt)
5.586	1.534	0.726	86,000	41,000

埋蔵量 (Proven+Probable) (mt)	品位		金属量	
	Ni(%)	Cu(%)	Ni(t)	Cu(kt)
4.886	1.51	0.73	74,000	36,000

(その他)

Falconbridge 社は象牙海岸の Biankouma-Sipilou ラテライト鉱床で 85%の権益を有するが、政情不安のため進展がない。



2005 年の探鉱予算状況: Noranda・Falconbridge [62.1mUS\$]

(出典: Major Company Exploration Profile (Metals Economics Group 2005))